

平成31年

シートベルト・チャイルドシート着用強調月間 ～カチッとベルトパーフェクト運動～

新潟県実施要綱

1 実施期間

3月1日(金)～3月31日(日)

2 目的

この運動は、県民にシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性を訴えるとともに、正しい着用を徹底し、交通ルールの遵守及び交通事故発生時の被害の防止・軽減を図ることを目的とします。

3 スローガン（2019年使用交通安全年間スローガン）

「全員の ベルトのカチャリが ゴーサイン」

4 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定して、シートベルトやチャイルドシートの使用・効果等について積極的な広報を行い、県民にシートベルトとチャイルドシートの着用徹底を呼び掛けましょう。



新潟県交通安全対策連絡協議会

全ての座席でシートベルト着用

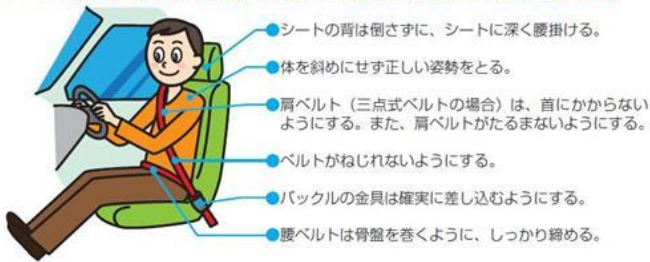
◎ シートベルト着用状況（平成30年10月 県警察、JAF合同調査）

区分	着用率(%)			
	新潟県		全国	
	一般道路	高速道路等	一般道路	高速道路等
運転者	99.1	99.7	98.8	99.6
助手席同乗者	96.6	97.0	95.9	98.5
後部座席同乗者	54.1	92.3	38.0	74.2

シートベルトは正しく着用しなければ効果がありません。
下の絵のとおり正しく着用しましょう。

シートベルトの正しい着用法

シートベルトは正しく装着すると交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減できます。



- 県内では、一般道路における運転者の着用率が、99.1%であるのに対し、後部座席同乗者の着用率は54.1%にとどまっています。
- 平成30年中の自動車乗車中の死者は31人で、そのうちシートベルトを着用していたのは19人(61.3%)でした。
- シートベルトは正しく装着すると交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減できます。
シートベルトを正しく着用し、大切な命を守りましょう。

車に乗ったら、「前も後ろも、すぐベルト」を合言葉に、全ての座席でシートベルト着用を習慣付けましょう。

チャイルドシートの正しい使用

◎ チャイルドシート使用状況（平成30年4月 県警察、JAF合同調査）

☆ チャイルドシート使用率(%)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
新潟県	52.5	45.3	49.0	52.3	63.3
全国	61.9	62.7	64.2	64.1	66.2
全国順位	37位	45位	45位	42位	29位

☆ 子供の乗車状況

区分	チャイルドシート使用率(%)	チャイルドシート不使用率(%)			
		座席にそのまま着座	チャイルドシートにそのまま着座	大人用シートベルトの着用	保護者の抱っこ
新潟県	63.3	13.5	17.3	3.8	2.3
全国	66.2	17.3	5.6	6.3	4.6

※端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

しっかりと付けていますか？チャイルドシート

JAFによる調査の結果、しっかりとチャイルドシートの取り付けができていないのは全体の約4割で、6割は取り付けミスが発生しています。

その原因の多くは、チャイルドシートを固定する際のベルトの締付け不足となっています。

今一度、取付け状態をチェックしましょう。

- 抱っこや座席にそのまま着座した場合には、急ブレーキや衝突の際、車外放出されるなど、重大な事故につながる危険性があります。
- 体の小さな子供が大人用シートベルトを使用すると、衝突時にすり抜けたり、首にかかって窒息や首の骨を折る等の危険性があります。

万が一の交通事故のとき、子供を守るのはチャイルドシートです。
子供の命を守るために、必ずチャイルドシートを使用しましょう。